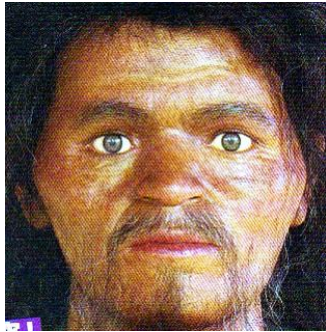




国立科学博物館で開催中の「古代DNA 日本人の来た道」を見に行った。見たかった特別展であり、良かった。

わかったこと 日本に縄文人が来たのは約4万年前、日本への道3本（樺太からの北方ルート、朝鮮半島からのルート及び南からの南方ルート）のうち、まず南方系。

その後渡来系が日本に来て縄文人と交雑した。

縄文人は上記の左端の顔、縄文系弥生と渡来系弥生人が日本の中央部に居座り、縄文人のDNAを色濃く持つのは南の島とアイヌ系みたいだ。中央が渡来系か？右端はアイヌ系

縄文時代は1万6千年続いたというが、それなりの文化を有していた。



赤ちゃんにお乳を呑ませる母親といわれる土偶

渡来系が大陸の文化を日本に持ち込んだのは事実のようだ。朝鮮の文物と日本のものが似ているのは事実だ。

日本書紀や古事記と古代人の流動状況を見てみると面白いのかもしれない。色々な動きがあったのだろう。

港川人や夜見ガ浜人の解析が進めばまた多くのことが解るのだろう。楽しみだが、・・・